



平成 18 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 大証金(大阪証券金融株式会社)  
代 表 者 取締役社長:大 津 隆 文  
(コード番号:8512 東証一部・大証一部上場)  
問 合 せ 先 企画総務部長:西 山 剛  
(TEL.06-6233-4510(代表))

### 平成 18~20 年度中期経営計画(単体)の策定について

本日開催の取締役会において、平成 18 年~20 年度中期経営計画(単体)について決議いたしましたのでお知らせいたします。

当社では、経営環境の変化等に適切に対応するため、中期経営計画について毎年度改定するローリング方式を採用しています。

今回策定いたしました中期経営計画の実行により、平成 20 年度には経常利益 27 億円、ROE5.5%以上の達成を目指します。

平成 18~20 年度中期経営計画(単体)の概要...別紙

以 上

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

## 平成 18～20 年度中期経営計画（単体）の概要

### 基本認識

<b>使 命</b>	「証券のための金融、証券による金融」を担い、証券市場の発展に貢献する
<b>目 標</b>	企業の持続的発展を通じ、関係者の期待に応える 株 主：高い収益性の実現 お客様：ニーズへの対応、サービスの向上 従業員：「やる気」に応える職場の提供
<b>行動指針</b>	「ゼロからのスタート」の精神で 「ニーズ！スピード！チャレンジ！」を実践する

### 経営目標

<b>収益性</b>	<b>利益水準</b>	平成 20 年度は、経常利益 27 億円、ROE 5.5% 以上、を達成する
	<b>配 当</b>	年 6 円の安定配当を堅持し、好業績時（単体純利益で概ね 8 億円以上）には、配当性向 30% を基準に増配する
<b>健全性</b>	<b>自己資本比率</b>	B I S 基準、証取法基準ともに高水準を維持
	<b>格 付</b>	格付け向上を目指す

### 利益計画

（単位：億円）

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
<b>経常利益</b>	15.5	20	22	27
<b>当期純利益</b>	17	12	14	16

（注）平成 17 年度の当期純利益（1 月 26 日発表）から、関係会社株式売却益を除いた実勢ベースの当期純利益は 12 億円。

### 平成 18 年度経営計画

#### 経営目標

<b>1</b>	経常利益 20 億円（前年度実績見込比 29% 増）を目指す
<b>2</b>	統合リスク管理体制および内部統制システムの整備を進める
<b>3</b>	情報発信を積極的に行うなど、社会に開かれた企業を目指す

#### 重点戦略

- (1) 重点商品について、平成 19 年 3 月末時点で次の残高目標を達成する
 

信用サポートローン	1,600 億円
コムストックローン	180 億円
ビジネスローン	180 億円
株レポ	2,200 億円
- (2) 年内を目標に新たな商品、サービスを開発し、提供する
- (3) 第 3 次オンラインシステムのグランドデザイン（基本設計）を策定する

以上

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。